

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		261-01-01				
事務事業名		害虫等対策事業		事務の種類			自治事務(任意のもの)			
				連絡先			内線2843			
担当部署名		環境保全課		予算科目	会計	1	一般会計			
総合基本計画	施策目標		2		地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費	
	施策		6		環境衛生		項	1	保健衛生費	
	施策の方向		1		自然環境の保全		目	3	環境衛生費	
事業の概要	対象 (誰を・何を)		一般市民							
	目的 (どうしたいか)		衛生害虫及び不快害虫の抑制及び駆除を行うことにより、公衆衛生の向上を図り、健康で快適な生活環境を確保する。							
	手段 (事業内容)		公共用地や水路等に不快害虫抑制剤・害虫駆除液の散布を行う。							

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 令和4年度は、備蓄薬剤で対応したため、事業費は支出していない。 【特定財源】	
当初予算額	事業費	300	300	200		
決算額	事業費	149	0	－		
	特定財源等	0	0	－		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	1年間で薬剤散布及び配布した延件数	単位	件	
指標の説明	市民相談により、市が行った薬剤散布及び市民に薬剤配布した延べ件数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		20	30	30
実績		31	31	－

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	市が行った公共用地への薬剤投入及び散布率	単位	%	
指標の説明	市民の相談により、原因場所が公共用地と判明した場合には薬剤の投入及び散布を行う。			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		100	100	100
実績		97	100	－

≪事業の参考数値等≫	
相談件数(ユスリカ) R3 31件 R4 31件 ※相談のあった個所については、薬剤を投入、あるいは相談者へ薬剤の配布を行っている。R3については、一件投入不可の個所であったため、97%としている。	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 相談件数は横ばいであるが、気候変動や生活様式の変化により増加する可能性がある。外来種不快害虫の出現も予想されるため、今後引き続き本施策の充実が求められる状況。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 他課との連携や、民間事業者の活用も課題となってくる。専門知識を持ち市民に的確な助言をすることも求められてくる。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		261-01-02				
事務事業名		飼犬登録及び狂犬病予防事務事業		事務の種類			自治事務(義務的なもの)			
				連絡先			内線2842			
担当部署名		環境保全課		予算科目	会計	1	一般会計			
総合基本計画	施策目標		2		地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費	
	施策		6		環境衛生		項	1	保健衛生費	
	施策の方向		1		自然環境の保全		目	3	環境衛生費	
事業の概要	対象 (誰を・何を)		犬を飼っている市民							
	目的 (どうしたいか)		飼い犬登録率・狂犬病予防注射接種率の向上を目指すと共に、狂犬病に感染しないように理解と予防に取り組む。							
	手段 (事業内容)		市内獣医師と委託契約し、公園や公共施設に出向き、年1回の集合予防注射を推進するため、各地域ごとに飼い犬登録と狂犬病予防注射の接種がしやすい環境を作って目的達成に取り組んでいる。							

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 消耗品費 179千円 郵便料 295千円 登録・注射済票手数料徴収事務委託料 633千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	1,096	1,110	1,171		
決算額	事業費	1,030	1,107	－		
	特定財源等	0	0	－		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	集合注射会場数	単位	箇所
指標の説明	注射頭数向上のための取り組み		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	39	39	33
実績	39	38	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	狂犬病予防注射の接種率	単位	%
指標の説明	登録頭数に対する注射頭数(注射頭数÷登録頭数×100)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	60	60	60
実績	63	57	－

登録頭数 R2 5,414匹 R3 5,349匹 R4 6,092匹 注射頭数 R2 3,215匹 R3 3,363匹 R4 3,454匹
--

≪事業の参考数値等≫

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 法定事業であり、今後も狂犬病予防注射の接種率を向上させるよう、事業を継続していく必要がある。 現状4名の獣医師で集合注射を実施しているが、接種会場数や方法についても獣医師の意見を踏まえ、効率よく事業継続していく。	

今後の改善内容
(令和5年度以後の事業実施への改善内容) ■令和4年6月1日より、ペットショップやブリーダーは、マイクロチップ装着義務化制度がスタートした。登録データ管理の簡素化と確実性向上のため、システム改修を行うことも検討する。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		261-03-01				
事務事業名		環境調査・監視事務事業		事務の種類			自治事務(義務的なもの)			
				連絡先			内線2820			
担当部署名		環境保全課		予算科目	会計	1	一般会計			
総合基本計画	施策目標		2		地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費	
	施策		6		環境衛生		項	3	公害対策費	
	施策の方向		1		自然環境の保全		目	1	公害対策費	
事業の概要	対象 (誰を・何を)		羽曳野市域の環境(水・大気・騒音等)							
	目的 (どうしたいか)		日常生活の住環境のために大気、河川水質、騒音の状況を監視し、被害・異常発生の未然防止に努める。							
	手段 (事業内容)		市域では府の環境監視を行う観測地点がないため、人への健康被害や動植物への影響など環境被害が生じないよう河川水質(5水系、5定点)、大気(一般環境DXN2地点、その他2地点)、環境騒音(23地点)、自動車騒音面的評価(幹線沿道4定点)の計36地点での状態を通年に監視する。							

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和4年度決算)》
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 水質検査委託料 4,587千円 大気検査委託料 3,047千円 環境騒音測定委託料 462千円 自動車騒音面の評価委託料 495千円
当初予算額	事業費	10,536	10,137	10,360	
決算額	事業費	8,240	8,591	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)			【特定財源】
指標名	調査地点数		単位	地点	
指標の説明	羽曳野市域で測定を行っている調査の地点数				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標(見込)	36	36	36		
実績	36	36	－		

《事業の参考数値等》
一般環境騒音基準達成率

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	一般環境騒音に係る環境基準達成率	単位	%	
指標の説明	全時間帯(昼間・夜間)での環境基準達成率(23地点)			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標(見込)	100	100	100	
実績	83	96	－	

至時間中 50%

基準達成

昼間 23地点中23地点

夜間 23地点中21地点

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 環境保全の観点から、事業の妥当性、有効性、効率性ともに問題なく、継続していく必要がある。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 市民にとってよりよい住環境を実現するため、調査項目の再検討や新規調査項目の検討も適時行う。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

						事務事業コード		261-03-02	
事務事業名		環境相談・指導事業			事務の種類		自治事務(義務的なもの)		
					連絡先		内線2820		
担当部署名		環境保全課			予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち			款	4	衛生費	
	施策	6	環境衛生			項	3	公害対策費	
	施策の方向	1	自然環境の保全			目	1	公害対策費	
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民相談							
	目的 (どうしたいか)	生活環境の保全、向上、及び、地域の美化推進を図ることにより住み良いまちづくりを進める。							
	手段 (事業内容)	市民からの相談に対するアドバイス、工場・事業場に対する指導等。							

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
当初予算額	事業費	0	0	0
決算額	事業費	0	0	—
	特定 財源等	0	0	—

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	苦情相談件数(公害・美化)	単位	件
指標の説明	年間の苦情相談受付件数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	80	80	80
実績	95	71	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	苦情相談 解決率(公害・美化)	単位	%
指標の説明	苦情相談を受理し、解決した割合		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	80	88	80
実績	87	86	—

※主な内訳(令和4年度決算)»

【事業費】

【特定財源】

※事業の参考数値等»

公害苦情件数 26件
(内解決件数 26件)

美化条例苦情件数 45件
(内解決件数 35件)

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 課題としては相談内容が多様多様に及ぶため、対応に苦慮することも多い。例えば、空地の苦情の場合、特に山間部の真の所有者を特定することが難しく、対応してもらえない或いはかなりの時間を要することが多い。	今後の改善内容 (令和5年度以後の事業実施への改善内容) 研修等への受講、装備の充実により、対応力や資質の向上に努める。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		261-05-01				
事務事業名		犬猫マイクロチップ装着費助成事業		事務の種類			自治事務(義務的なもの)			
				連絡先			内線2843			
担当部署名		環境保全課		予算科目	会計	1	一般会計			
総合基本計画	施策目標		2		地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費	
	施策		6		環境衛生		項	1	保健衛生費	
	施策の方向		1		自然環境の保全		目	3	環境衛生費	
事業の概要	対象 (誰を・何を)		マイクロチップ未装着の犬又は猫を所有する市民							
	目的 (どうしたいか)		市内において所有する犬又は猫に対しマイクロチップ装着の普及を図り、所有者明示の措置を講ずることに関する普及啓発及び災害発生時等に保護された収容動物の返還率を向上させ、殺処分を減少させることを目的とする							
	手段 (事業内容)		助成金交付要件を満たした犬又は猫の申請1件につき1,000円又は支払った施術に係る費用の額のいずれか低い額を交付する。助成の対象となる申請は、1世帯につき1年度以内に3匹までとする。							

予算・決算額		(単位:千円)			「主な内訳(令和4年度決算)」 【事業費】 交付件数:17頭 1,000円×17頭=17,000円 【特定財源】
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
当初予算額	事業費	—	500	200	
	事業費	—	17	—	
決算額	特定財源等	—	0	—	

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	申請件数	単位	件	
指標の説明	犬猫マイクロチップ装着費助成金申請件数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	—	500	200	
実績	—	11	—	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	助成金交付金額	単位	頭	
指標の説明	頭数に対する交付金額(1,000円×交付頭数)			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	—	500	200	
実績	—	17	—	

「事業の参考数値等」 【申請件数】 R4:11件 【交付頭数】 R4:17頭(犬4頭、猫13頭) 1,000円×17頭=17,000円
--

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	改善して継続	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 令和4年4月1日より事業がスタートした。マイクロチップ未装着の犬・猫に所有者(市民)が病院にてマイクロチップを装着してもらい助成金の交付を受けるものだが、令和4年6月1日に犬又は猫のマイクロチップ装着義務化制度がスタートし、ペットショップやブリーダーから購入した場合は既にマイクロチップが装着済のためこの制度が利用できない。現状申請要件を満たすのは、基本的に令和4年6月以前に産まれた犬・猫であり、マイクロチップ装着は努力義務であるため装着させない所有者が多く、制度の周知、啓発をしていく必要がある。	(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 事業の開始目的及び事業自体を周知し、啓発することで装着頭数の増加を目指す。	

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		261-05-02	
事務事業名		ペット同行避難体制整備事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線2841	
担当部署名		環境保全課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費
	施策	6	環境衛生		項	1	保健衛生費
	施策の方向	1	自然環境の保全		目	3	環境衛生費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	犬・猫を飼っている市民					
	目的 (どうしたいか)	地震や大規模な水害などにより家屋が被災し、住むことができなかった場合の指定避難所における中長期的な避難が必要になった際、飼い主とペットが同行避難(＝避難所までの避難行動)を安全・確実に行うと同時に、避難所生活が円滑に送れるような環境を整える。					
	手段 (事業内容)	ペット飼料やペット用避難用品(ケージやキャリーバック)の備蓄を行うと共に、避難所の整備等同行避難できる環境作りを整備していく。					

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和4年度決算)※
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 災害対策物資:27千円 災害対策用備品購入費:211千円 【特定財源】
当初予算額	事業費	－	239	27	
決算額	事業費	－	238	－	
	特定財源等	－	0	－	

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	備蓄物資の確保	単位	袋	
指標の説明	ペットフードの備蓄数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	－	20	20	
実績	－	27	－	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	備蓄物資の確保	単位	袋	
指標の説明	ペットフードの備蓄数			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	－	20	20	
実績	－	27	－	

【事業費】 災害対策物資:27千円 災害対策用備品購入費:211千円 【特定財源】
※事業の参考数値等※ ・災害時に同行避難してきた犬・猫のペットフードについて、各10匹が5日間生活するのに必要な袋数は約20袋 ・購入備品 ドッグケージ7個、スライドサークルM7個、スライドサークルL6個、給餌器(アーク)15個、給餌器(ピーチ)15個、給餌器(アイボリー)10個、リード(ブルー)20本、リード(レッド)20本

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 国・府ガイドラインを踏まえ「平時からの備え」が必要である。 また、有事の際飼い主とペットが同行避難(＝避難所までの避難行動)を安全・確実に行うと同時に、避難所生活が円滑に送れるような環境を整えていく。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 災害に備え、平時における「しつけ」、緊急時の備えや、避難所における動物の適正飼養、衛生等の指導・啓発などに取り組んでいく。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		262-01-01	
事務事業名		石川クリーン作戦事業		事務の種類			自治事務(任意のもの)
				連絡先			内線2820
担当部署名		環境保全課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費
	施策	6	環境衛生		項	1	保健衛生費
	施策の方向	2	環境美化の推進		目	7	環境美化対策費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	石川河川流域、及び、流域住民					
	目的 (どうしたいか)	河川流域の水質向上及び水環境の改善を通じて流域住民の意識向上を図る					
	手段 (事業内容)	官民協働で河川流域の清掃。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 消耗品費 35千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	116	116	116		
決算額	事業費	0	35	－		
	特定財源等	0	0	－		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	参加者数	単位	人
指標の説明	クリーン作戦当日の参加人数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	2,500	2,500	2,500
実績	0	2,000	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	ごみの回収量	単位	t
指標の説明	クリーン作戦でのゴミ回収総量		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	10	10	8
実績	0	5	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 現在、大和川流域において、環境、河川、下水道の各担当部局が、共に連携し、流域ぐるみで水辺環境の改善について計画等を策定し、国・府・流域市町村が一体となって取り組んでいる。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 河川における水環境問題や流域市町村の水道水の取水問題、海洋域におけるマイクロプラスチックや漂流ゴミの問題などを含んでおり、事業を継続しながら将来の方向性の検討を行います。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

						事務事業コード		262-01-02	
事務事業名		まちかど清掃事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)		
					連絡先		内線2841		
担当部署名		環境保全課			予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち			款	4	衛生費	
	施策	6	環境衛生			項	2	清掃費	
	施策の方向	1	自然環境の保全			目	1	清掃総務費	
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市域							
	目的 (どうしたいか)	公共施設周辺のポイ捨てゴミの清掃を行うことにより、環境美化の啓発を行う。							
	手段 (事業内容)	市職員による駅前及び公共施設周辺の清掃活動							

予算・決算額		(単位:千円)			《主な内訳(令和4年度決算)》
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】
当初予算額	事業費	0	0	0	
決算額	事業費	0	0	—	
	特定財源等	0	0	—	
					【特定財源】

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	開催回数	単位	回
指標の説明	まちかど清掃開催回数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	0	1	1
実績	0	1	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	職員参加人数	単位	人
指標の説明	まちかど清掃参加延人数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	100	200	100
実績	0	80	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 環境美化の観点から継続することで、職員の意識向上、職場の周辺環境のごみの状況認識、職員が率先して自主的に取り組むことによる市民への啓発などの効果がある。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) ・市職員への美化意識を高め、市内のポイ捨てごみの減少に努める。 ・事業の継続とより多くの職員参加を促す。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

						事務事業コード		263-01-01		
事務事業名		環境教育推進事業				事務の種類		自治事務(任意のもの)		
						連絡先		内線2820		
担当部署名		環境保全課				予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち				款	4	衛生費	
	施策	6	環境衛生				項	3	公害対策費	
	施策の方向	3	環境教育の推進				目	1	公害対策費	
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市域の小学生								
	目的 (どうしたいか)	環境教育の一環として、エネルギーと環境との関わりを考える授業や、水生生物とのふれあいを通し、環境について関心を喚起し美化の推進につなげる。								
	手段 (事業内容)	関西電力㈱協力による「環境教育授業」(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)、大阪府石川河川公園との共催事業の「水辺の観察会」								

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和4年度決算)※
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】
当初予算額	事業費	30	30	31	
決算額	事業費	0	0	—	
	特定財源等	0	0	—	
					【特定財源】

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	環境教育開催回数	単位	回
指標の説明	環境保全課で行っている環境教育の開催回数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	2	1	1
実績	0	1	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	参加者数	単位	人
指標の説明	環境教育の参加人数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	0	30	30
実績	0	20	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題) 環境保全への意欲の増進を目的とした環境教育の取り組みとして、感性の豊かな年代である小学生と家族を対象とした「水辺の観察会」は、子どもたちの未来に向かって「環境」を身近に感じる意識付けのため、事業を継続していく。	今後の改善内容 (令和5年度以後の事業実施への改善内容) 小学生の関心を引く取り組みについて協議し改善していく。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		272-01-01	
事務事業名		ペットボトル回収事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線2842	
担当部署名		環境保全課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費
	施策	7	ごみの減量化と再資源化		項	2	清掃費
	施策の方向	2	ごみの再資源化の推進		目	3	ごみ減量・リサイクル事業費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市域から排出されるペットボトル					
	目的 (どうしたいか)	ごみの減量化及び再資源化を図る。					
	手段 (事業内容)	公共施設や地域集会所等に専用回収容器を設置し、市内から排出されるペットボトルの回収を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 ペットボトル回収業務委託料 3,984千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	3,906	4,118	3,880		
決算額	事業費	3,728	3,984	－		
	特定財源等	0	0	－		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	回収日数	単位	日
指標の説明	年間回収日数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	144	150	132
実績	141	147	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	回収量	単位	t
指標の説明	年間回収量		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	35	35	35
実績	37	30	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) ごみ減量化、再資源化及びCO2削減の観点からも必要な事業である。今後、回収量の増を図るべく、回収拠点の増加や回収方法の検討を行う必要がある。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 持続可能な循環型かつ脱炭素社会に向けた「ボトルtoボトルリサイクル」についても検討する。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

		事務事業コード			272-01-02
事務事業名		事務の種類			自治事務(義務的なもの)
		連絡先			内線2843
担当部署名		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標		款	4	衛生費
	施策		項	2	清掃費
	施策の方向		目	3	ごみ減量・リサイクル事業費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	古紙等を回収し再生業者に引き取り依頼をしている自治会、町会等			
	目的 (どうしたいか)	ごみの減量化及び再資源化を図る。			
	手段 (事業内容)	古紙等を回収し再生業者に引き取り依頼をしている自治会、町会等に対し助成金を交付する。			

予算・決算額		(単位:千円)			「主な内訳(令和4年度決算)」
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 助成金 3,200千円 【特定財源】
当初予算額	事業費	4,900	4,400	3,925	
決算額	事業費	3,456	3,200	－	
	特定財源等	0	0	－	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	古紙集団回収実施団体数	単位	団体
指標の説明	前期・後期分延べ回収実施団体数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	310	310	310
実績	298	298	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	古紙集団回収量	単位	t
指標の説明	年間回収量		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	2,500	2,500	2,500
実績	1,728	1,600	－

登録団体 令和3年度前期 148 令和3年度後期 150 令和4年度前期 149 令和4年度後期 149
--

「事業の参考数値等」

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) インターネットや電子書籍が普及し、新聞や雑誌などのペーパー類は減少傾向にある。子ども会等の廃止や回収活動の縮小により回収量の減少や廃棄物として処理されることが懸念される。この事業は、ごみの減量化、再資源化及びCO2削減につながる事業であり、より一層市民の協力を得られるように啓発を図る。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) ごみの減量化、再資源化及びCO2削減につながる事業のため、事業実施団体の増加を含め、安定した事業の継続を行っていく。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		273-01-01				
事務事業名		ごみ収集事業		事務の種類			自治事務(義務的なもの)			
				連絡先			内線2843			
担当部署名		環境保全課		予算科目	会計	1	一般会計			
総合基本計画	施策目標		2		地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費	
	施策		7		ごみの減量化と再資源化		項	2	清掃費	
	施策の方向		3		効率的なごみ処理方法の検討		目	2	塵芥処理費	
事業の概要	対象 (誰を・何を)		一般家庭							
	目的 (どうしたいか)		一般廃棄物の排出を抑制し、再利用を促進するとともに、一般廃棄物の適正な処理を行い生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。							
	手段 (事業内容)		市内の家庭から発生する一般廃棄物(ごみ)を業務委託により収集及び運搬を行う。							

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 家庭ごみ収集委託料	
当初予算額	事業費	710,726	725,851	725,886		
決算額	事業費	698,201	705,354	－		【特定財源】
	特定財源等	0	0	－		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	委託業者家庭系ごみ収集運搬量	単位	t	
指標の説明	可燃ごみ+可燃粗大+不燃粗大			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		24,000	24,000	24,000
実績		24,054	23,623	—

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	市民一人1日あたりの家庭系可燃ごみの排出量	単位	g	
指標の説明	年間家庭系可燃ごみ収集運搬量÷365(日)÷年度末人口			
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)		590	590	595
実績		603	595	—

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が ^あ 上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 市民生活に直結するため、引き続き収集業者に対する適切な指導を行いながら、適正な収集・運搬を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努める。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 今後も安定的に塵芥処理事業を継続できるようにしていく。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		273-01-02				
事務事業名		し尿収集事業		事務の種類			自治事務(義務的なもの)			
				連絡先			内線2841			
担当部署名		環境保全課		予算科目	会計	1	一般会計			
総合基本計画	施策目標		2		地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費	
	施策		7		ごみの減量化と再資源化		項	2	清掃費	
	施策の方向		3		効率的なごみ処理方法の検討		目	1	清掃総務費	
事業の概要	対象 (誰を・何を)		一般市民							
	目的 (どうしたいか)		一般廃棄物の排出を抑制し、再利用を促進するとともに、一般廃棄物の適正な処理を行い生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。							
	手段 (事業内容)		市内の家庭から発生する一般廃棄物(し尿)を業務請負により収集及び運搬を行う。							

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 し尿汲取業者助成金 【特定財源】	
当初予算額	事業費	16,879	15,797	14,289		
決算額	事業費	16,073	14,516	－		
	特定財源等	0	0	－		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	し尿汲み取り人口	単位	人
指標の説明	羽曳野市域のし尿の汲み取り人口		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	4,200	3,900	3,500
実績	4,009	3,554	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	し尿処理率	単位	%
指標の説明	羽曳野市域のし尿の処理率		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	100	100	100
実績	100	100	－

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きい。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 収集業者に対する適切な指導を行いながら、適正な収集・運搬を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努める。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 下水道の普及に伴い、徐々に事業として縮小傾向ではあるが、行政として継続していく。

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

				事務事業コード		273-01-04	
事務事業名		水銀等使用廃製品の分別収集事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線2843	
担当部署名		環境保全課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち		款	4	衛生費
	施策	7	ごみの減量化と再資源化		項	2	清掃費
	施策の方向	3	効率的なごみ処理方法の検討		目	3	ごみ減量・リサイクル事業費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	一般家庭					
	目的 (どうしたいか)	羽曳野市でいきいきと安心して暮らせる環境を整える。					
	手段 (事業内容)	家庭から排出される一般廃棄物のうち、水銀等使用廃製品(蛍光灯・乾電池等)を分別し、拠点収集を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和4年度決算)≫	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
当初予算額	事業費	3,786	1,461	1,722		
決算額	事業費	1,223	1,441	－		
	特定財源等	0	0	－		
活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)				
指標名		収集回数		単位	回	
指標の説明		年間回収量実績				
		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標(見込)		50	50	98		
実績		83	99	－		
成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)				
指標名		収集運搬量		単位	kg	
指標の説明		年間回収量				
		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標(見込)		9,000	9,000	9,000		
実績		10,916	11,907	－		
		≪事業の参考数値等≫				
		市内拠点回収ボックス設置数 12か所				

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 水俣条約・水銀汚染防止法・廃棄物の処理及び清掃に係る法律施行令・同施行規則・大気汚染防止法に基づき、事業継続は必要。 ペットボトル回収事業に本事業を含めて契約することにより、契約コストの削減と効率的な回収を行うことができる。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 回収拠点の増加も含め、安定的な事業の継続を行っていく。